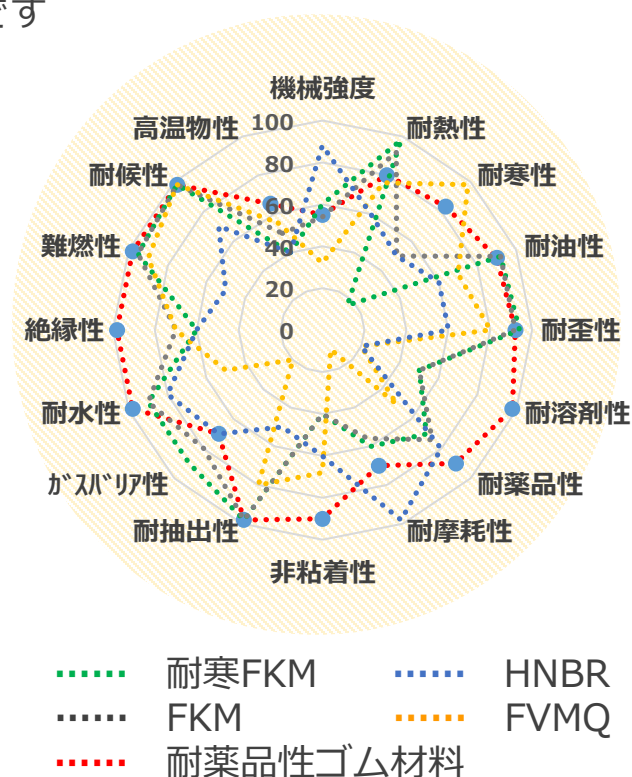


耐薬品性ゴム材料

耐薬品性ゴム材料とは

- 従来のゴム材料の性能をあらゆる面で改良した、全く新しいタイプのフッ素ゴム材料です
- 極めて広い温度範囲での使用があると同時に、ゴム材料に要求される多くの特性を満足する万能ゴム材料です



特徴

- -50℃~200℃の広い温度範囲で連続使用が可能です
- アルコール・エーテル・ケトンなどの炭化水素系液体には膨潤しません
- 酸・アルカリによる劣化がありません
- アミン系化合物による劣化がありません
- 耐水性・耐スチーム性に優れています
- 圧縮永久歪が小さく、シール性に優れています
- 高温雰囲気中での物性保持率が優れています
- 有害物質を含まず、動植物の生体に悪影響を与えません



耐薬品性の比較

浸漬薬品及び浸漬条件	耐薬品性 ゴム材料	耐薬品FKM (PVME/TFE)	特殊3元系FKM (HFP/VDF/TFE)
【酸・アルカリ類】			
塩酸 (35%) 40℃×10日	A(+1.3)	A	A
硫酸 (35%) 40℃×10日	A(-0.3)	A	A
硝酸 (35%) 40℃×10日	A(+2.6)	A	A
無水酢酸 40℃×8日	A(+0.1)	A	C
水酸化ナトリウム (30%水溶液) 40℃×10日	A(+1.3)	A	A
アンモニア水 (28%) 40℃×10日	A(±0.0)	A	B
【ケトン・エステル・エーテル・フラン系】			
アセトン 40℃×21日	B(+6.5)	B	D
メチルイソブチルケトン 40℃×21日	A(+4.6)	B	D
酢酸エチル 40℃×21日	B(+6.1)	B	D
トリエチルホスフェート 40℃×21日	A(+1.8)	A	D
ジエチルエーテル 40℃×21日	B(+10.6)	B	C
1, 4-ジオキサン 40℃×21日	A(+2.1)	A	C
テトラヒドロフラン 40℃×21日	B(+7.1)	B	D
アセトフェノン 40℃×21日	A(+0.2)	A	C
【窒素系溶剤類】			
アクリロニトリル 40℃×21日	A(+1.7)	A	C
エチレンジアミン 40℃×21日	B(+18.8)	B	D
N, N'-ジメチルホルムアミド 40℃×21日	A(±0.0)	A	D
【炭化水素・ハロゲン化炭化水素類】			
n-ヘキサン 40℃×21日	B(+6.4)	B	B
シクロヘキサン 40℃×21日	B(+7.3)	B	A
ベンゼン 40℃×21日	A(+4.5)	B	B
トルエン 40℃×21日	A(+4.9)	A	B
キシレン 40℃×21日	A(+4.0)	A	B
ニトロベンゼン 40℃×21日	A(+3.1)	A	B
クロロホルム 40℃×21日	B(+9.4)	B	B
塩化メチレン 40℃×21日	A(+4.6)	B	B
ダイフロイル # 1 (フッ素系溶剤) 40℃×21日	C(+25.5)	C	C
【アルコール類】			
メチルアルコール 40℃×21日	A(-0.4)	A	B
エチルアルコール 40℃×21日	A(-1.1)	A	B
エチレングリコール 40℃×21日	A(-0.4)	A	A
【鉱油系潤滑油類】			
ASTM No1オイル 40℃×16日	A(+1.3)	A	A
IRM903オイル 40℃×16日	A(+2.9)	A	A

注1) 評価の基準 (体積変化率) A : +5%未満 B : +5~+20% C : +20~+50% D : +50%以上

注2) () 内の数値は実測値

注3) 上記評価結果は、浸漬試験での結果となりますので、ご使用前に必ずお客様でのご評価をお願い致します。

< 製品に関するお問合せ先 >



藤倉コンポジット株式会社
制御機器事業部 メディカルチーム

担当: 齋木、鹿島
E-mail: medical@fc.fujikura.co.jp

〒141-0031
東京都品川区西五反田8-4-13 五反田JPビルディング4F
TEL : 03-5747-9223
FAX : 03-5747-9217